

令和2年11月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和2年11月分について、輸出は「自動車」などが増加したものの、「石油製品」、「鉱物性タール及び粗製薬品」などが減少したことから、対前年同月比1.3%の減少となった。また、輸入は「液化石油ガス」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが減少したことから、同42.7%の減少となった。その結果、差引額は26億円（同95.2%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	695億円	▲1.3%	721億円	▲42.7%	▲26億円	▲95.2%
	12ヵ月連続の減少		17ヵ月連続の減少			

輸出				輸入					
	概況品名	金額	伸率		概況品名	金額	伸率		
輸出	増加品目	(1) 自動車	79億円	+321.1%	輸入	増加品目	(1) 液化石油ガス	40億円	+34.4%
		(2) 通信機	17億円	36倍			(2) 重電機器	11億円	+52.2%
		(3) 事務用機器	10億円	330倍			(3) 有機化合物	21億円	+13.6%
	減少品目	(1) 石油製品	40億円	▲62.0%		減少品目	(1) 原油及び粗油	286億円	▲55.9%
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	13億円	▲49.0%			(2) 液化天然ガス	125億円	▲48.1%
		(3) 自動車の部分品	52億円	▲17.3%			(3) 石炭	9億円	▲70.5%
地域別動向	増加：西欧 減少：アジア、中南米			地域別動向	増加：アジア 減少：中東、中東欧・ロシア等				

（参考）ドルレートは、104.68円（前年同月比3.8%、4.08円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したものの。